

# ひめじ創生戦略

～ふるさと・ひめじにプラスワン～

(概要版)



# 1 ひめじ創生戦略～ふるさと・ひめじにプラスワン～について

我が国の総人口は、2008年をピークに減少局面に入っており、減少幅は年々拡大しています。さらに地方から東京圏への人口流出が一層進む中、国においては、地域経済の縮小などのさまざまな課題に対応するため、まち・ひと・しごと創生長期ビジョン及び総合戦略を策定し、事業を推進しています。

こうした状況の下、本市ならではの地方創生、すなわち本市が播磨の連携中枢都市にふさわしい人口規模と経済力を今後も維持し続け、「ふるさと・ひめじ」を未来につないでいくための基本的な目標と施策を定める、「ひめじ創生戦略」を策定することとしました。

この戦略では、持続可能な都市の姿として、「生きがいと魅力ある 住みよい都市 姫路」を目指してきたこれまでの取組みに加えて、本市の魅力や強みを再発見し、新たな視点や価値観から施策を展開する「ふるさと・ひめじにプラスワン」の取組みを進めていきます。

また、この戦略は、「人口ビジョン」と「総合戦略」の二部で構成されています。

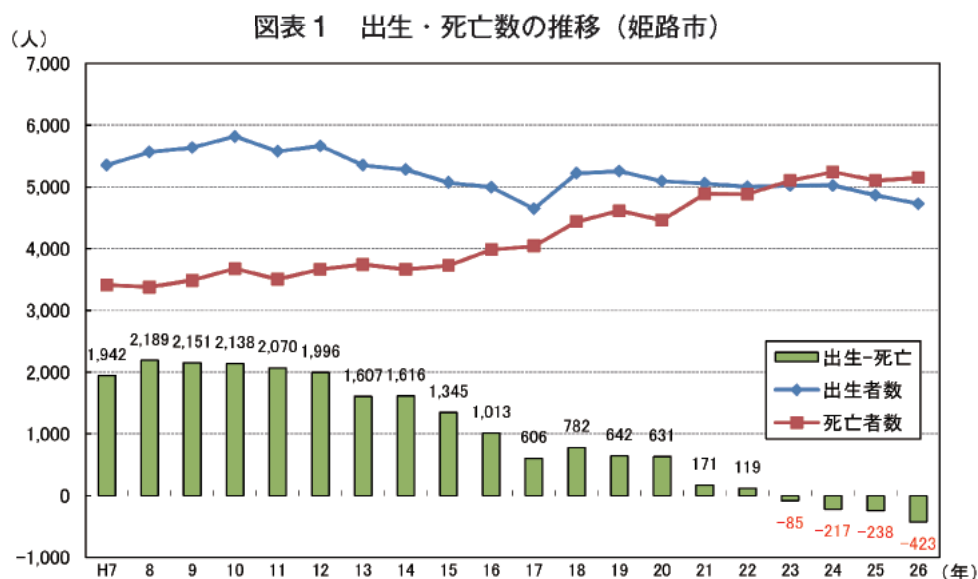
人口ビジョンは、人口急減と少子高齢化の進行という人口問題について、現在から平成72年（2060年）までの本市の姿を展望し、人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域社会を維持するため、将来に与える影響や課題、今後取り組むべき方向性を市民全体で共有することを目的としています。総合戦略は、人口減少とこれに伴う地域経済の縮小を克服し、播磨の中枢都市に相応しい人口規模と経済力を確保し、東京圏や阪神地域をはじめとする大都市圏に対抗できる、活力ある「ふるさと・ひめじ」を維持することを目的としています。

## 2 ひめじ創生戦略〔人口ビジョン（2060年）〕

### （1） 姫路市の現状

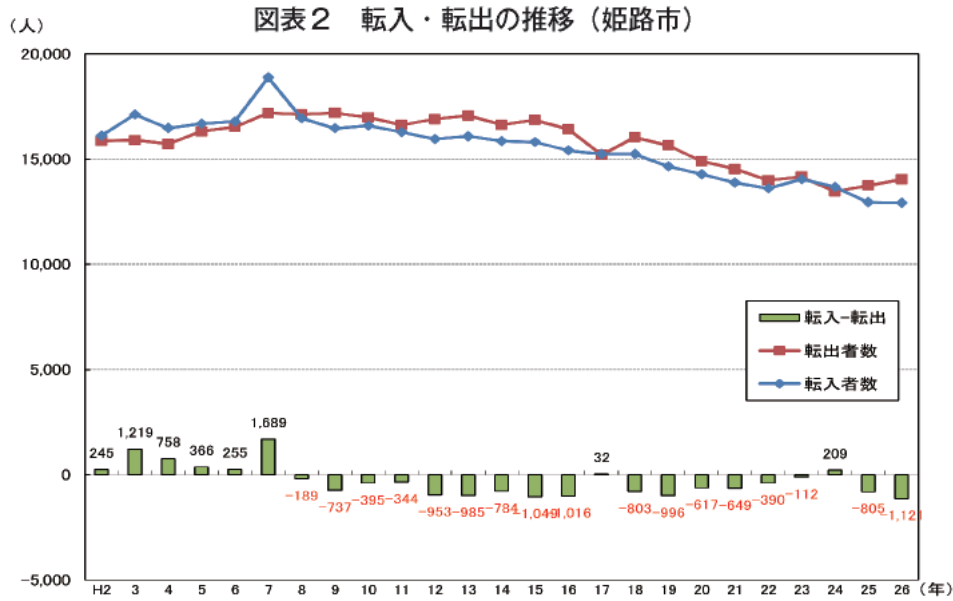
#### ① 自然増減

姫路市の自然増減については、平成23年（2011年）以降、死亡が出生を上回る自然減の状態となっています。全国の人口が初めて自然減になったのは平成17年（2005年）であり、それよりは減少が遅れていますが、自然減の幅は年々拡大しており、今後もこの傾向が続くものと考えられます。

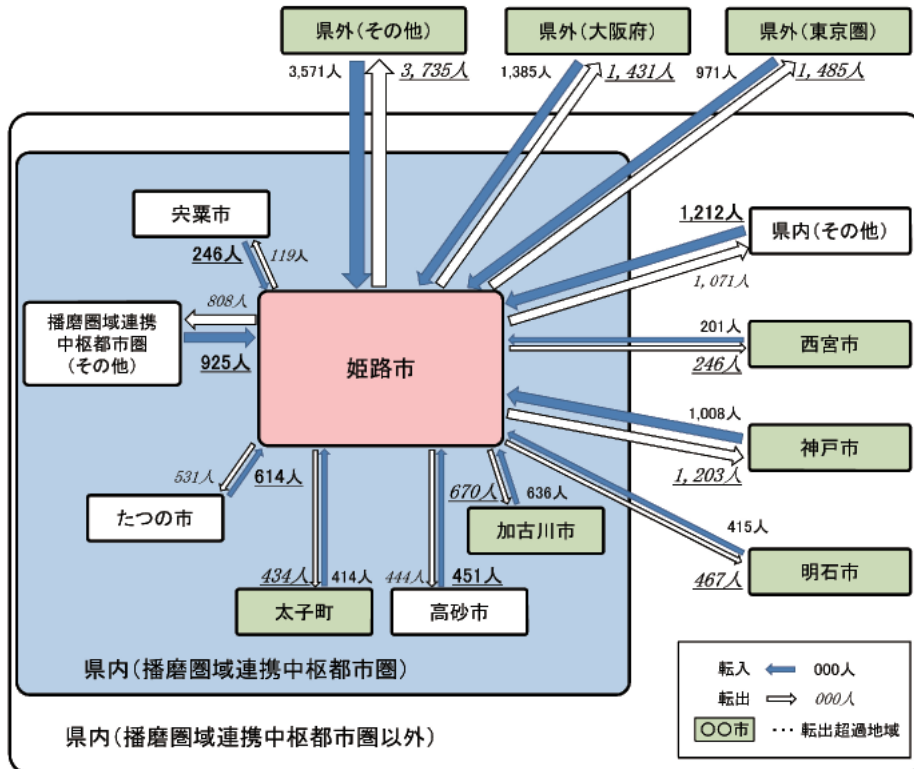


② 社会増減

姫路市の社会増減については、ほとんどの年において転出が転入をわずかに上回る状況となっています。転入、転出先を見ると、神戸市、西宮市など、本市より東側に位置する自治体に対して転出超過となっているのに対し、たつの市や宍粟市など、近隣市町から転入超過となっています。また、大阪府や東京圏に対しての転出超過数が大きいのも特徴です。



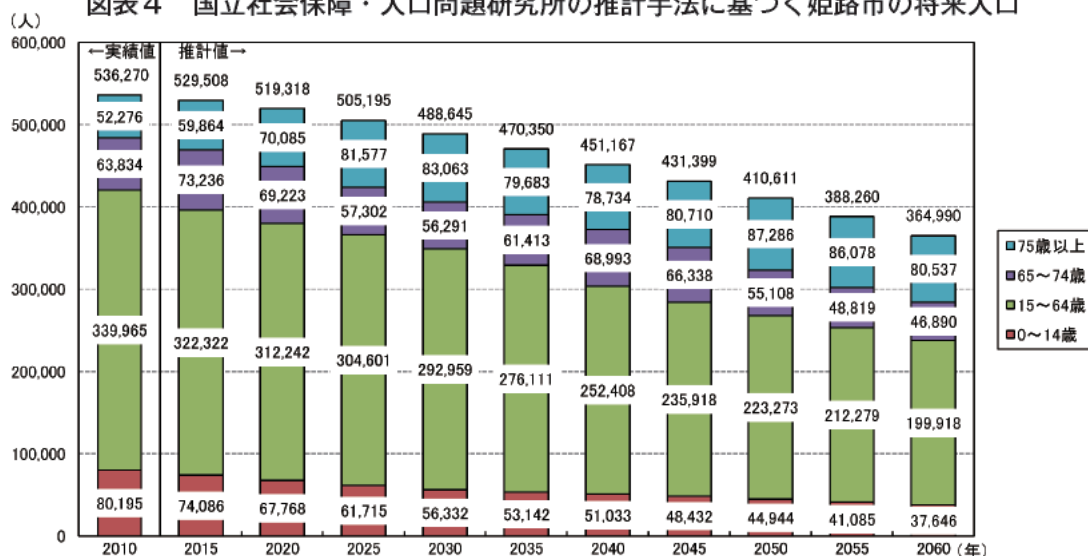
図表3 転入・転出先（平成26年・姫路市）



## (2) 人口推計・将来に与える影響

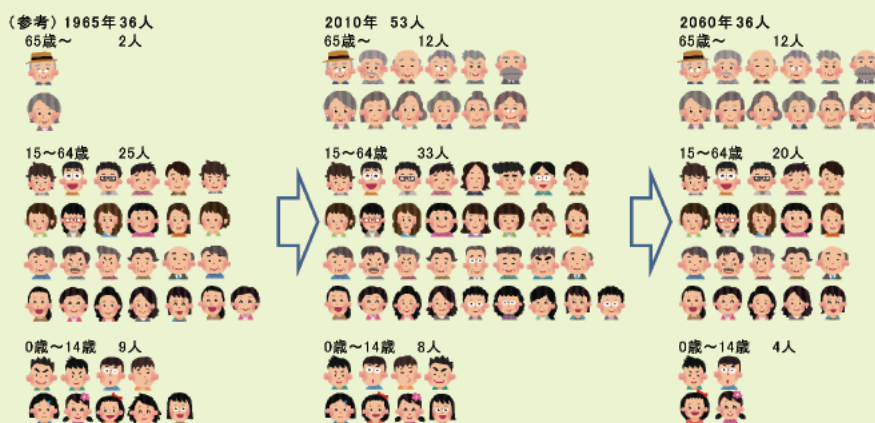
国立社会保障・人口問題研究所（社人研）は、現在の自然減少、社会減少の傾向が改善されずに継続した場合、本市の人口は平成22年（2010年）の53.6万人から平成72年（2060年）には36.4万人まで減少すると見込んでいます。

図表4 国立社会保障・人口問題研究所の推計手法に基づく姫路市の将来人口



### ◇◇◇◇◇◇◇◇ 「もし現在の姫路市が53人のまちだとしたら」 ◇◇◇◇◇◇◇◇

人口減少は姫路市民の皆さんの生活にどのような影響があるのでしょうか？姫路市が「人口53人のまち」だったケースを想像してみましょう。下の図が2010年の姫路市の人口を53人としたとき、2060年のまちの人口構成がどうなるかを推計し、図で表したものです。



まちに住んでいる人がずいぶん少なくなっているのがわかります。特に15歳～64歳までの人たちが大きく減り、社会を支えていく人たちがかなり少なくなっています。加えて高齢化率（人口に占める65歳以上の高齢者の割合）は、2010年は23%だったのが、33%まで達しています。

このような未来とならないために、皆さん一人ひとりの取組みと、行政と地域が一体となった取組みの両方が大切です。家族で、地域で、自分たちと子どもたちの未来のことを話し合ってみてはいかがでしょうか。

### 人口の減少が地域の将来に与える影響・課題

- ① 地域経済の縮小
- ② 社会保障等の財政需要の増大、税収の減少
- ③ 地域コミュニティの弱体化による共助機能の低下と伝統文化の担い手不足
- ④ 生活インフラ・公共施設の維持管理コストに関する負担増
- ⑤ 近隣市町の将来の人口減少による本市への影響

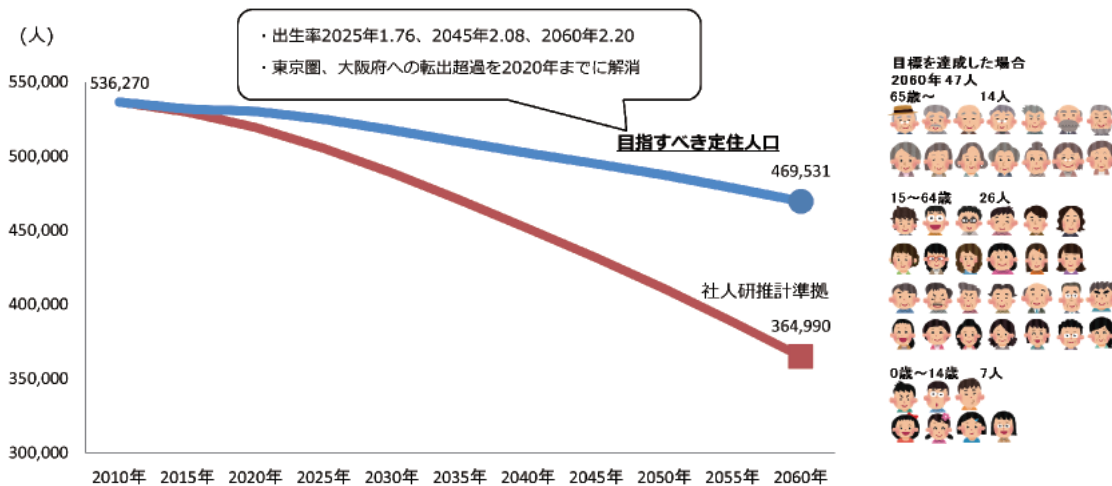
### (3) 目標設定と対応の方向性

将来にわたって、安定した市民生活を維持するためには、急激な人口減少を回避するとともに、世代間の偏りが小さい安定した人口構造の実現が必要です。

兵庫県では、平成32年（2020年）以降兵庫県全体の出生数2.2万人を維持することを目標としています。これに準拠する形で、現状の通り兵庫県よりもやや高い水準で合計特殊出生率が維持されると仮定した場合、2060年の人口は約47万人となります。このケースでは、人口の減少が最も緩やかになり、特定の世代への偏りが小さく、人口ピラミッドの形が安定します。

このため、2060年の姫路市の人口47万人を、市民をはじめ、産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア（産官学金労言）と一体となり人口減少問題の克服に取り組むことによって目指すべき定住人口とします。

図表5 姫路市の人口シミュレーションの比較



### 人口減少問題への対応の方向性

- ① ものづくり力や歴史文化等の強みを活かし、市経済の活力を維持するとともに、播磨圏域の経済を牽引する
- ② 若者や女性が将来に希望と誇りを持って暮らせる、魅力あるまちを実現する
- ③ 高齢者がいつまでも生きがいを持ち、地域社会の担い手として活躍できる環境を創出する
- ④ 安心して子育てができる住みよいまちを未来に継承する
- ⑤ 播磨の中核都市として光り輝くまちを形成する

### 3 ひめじ創生戦略〔総合戦略(2015年度～2019年度)〕

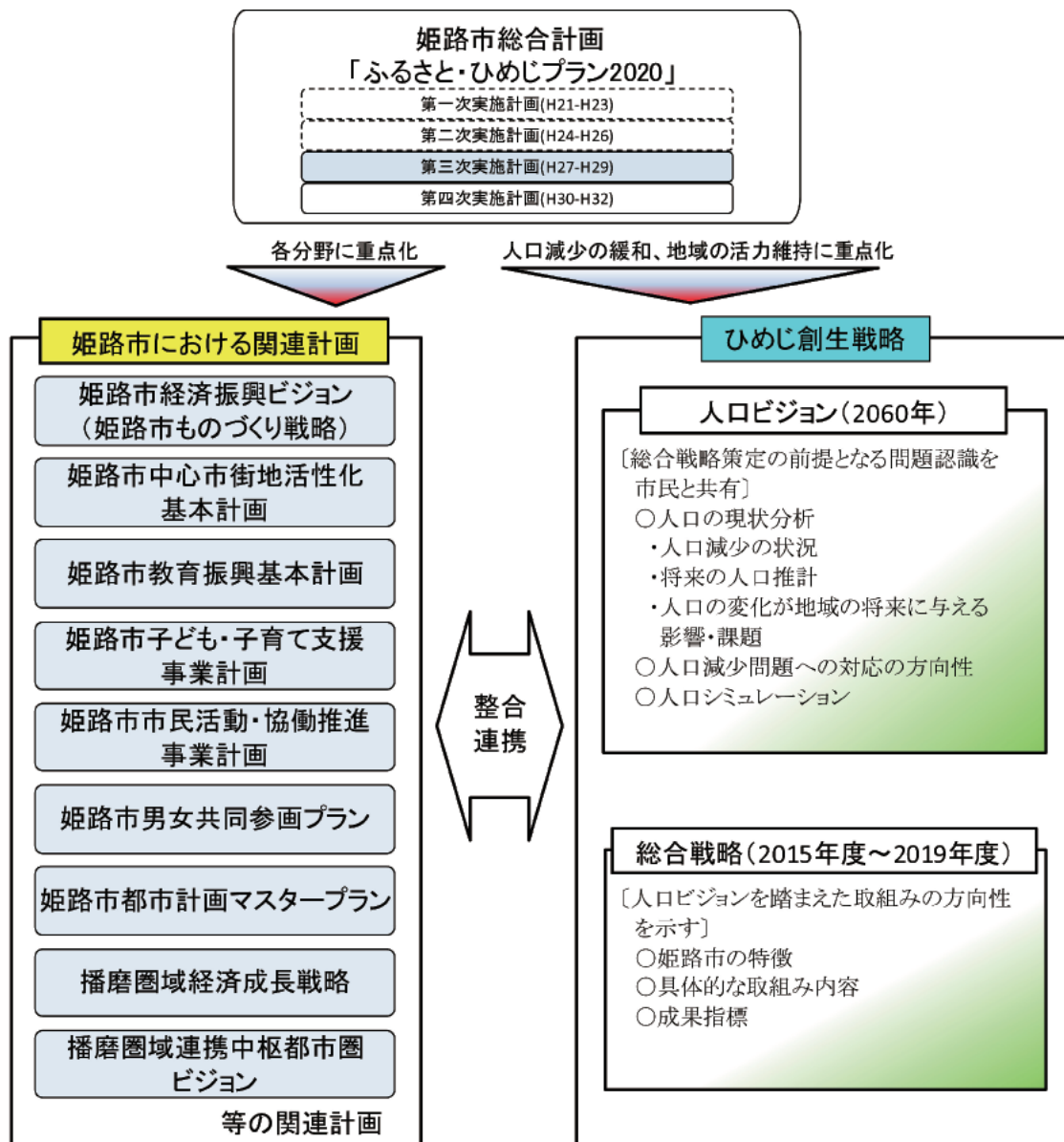
本市では、総合計画「ふるさと・ひめじプラン2020」を策定し、人口減少社会が到来したとの認識のもと、平成32年(2020年)において人口53万人を維持することを目標に掲げ、子育て支援や地域経済の活性化に取り組んでいます。

また、近隣の7市8町と連携協約を締結し、広域連携により圏域として人口減少に対応すべく播磨圏域連携中枢都市圏構想を推進しています。

この度策定する総合戦略は、本市の総合計画や播磨圏域連携中枢都市圏ビジョン等の目指す将来像を踏まえた上で、人口減少社会に対応するための施策体系を確立し、取り組みの基本的な方向を具体的に示すものです。

本戦略の計画期間は、平成27年度(2015年度)～平成31年度(2019年度)とします。

図表6 ひめじ創生戦略と総合計画等との関係



(1) 5つの基本目標

人口減少の進行を緩和し、「ふるさと・ひめじ」の活力を維持し続けるためには、経済・暮らし・文化などの各分野における、本市が持つ魅力を地域資源として磨き上げ、つなぎ合わせていく必要があります。

そうした内発的な活力に加えて、国内外の他地域の活力を本市に取り込み、さらに発展を遂げていくとともに、その成果を播磨圏域全体で分かち合うことにより、本市も近隣市町も持続的に発展していく姿を描いていく必要があります。

ひめじ創生戦略においては、上記の観点を踏まえつつ、将来的に人口減少に歯止めをかける「積極戦略」に取り組むとともに、直面する人口減少の課題に対応し、活力を維持するための「調整戦略」に重点的に取り組んで参ります。

このため、人口ビジョンに掲げる「人口減少問題への対応の方向性」に基づき、本市の特徴を分析し、施策を体系化した5つの基本目標を掲げ、その達成に向けた取組み（19の施策）を着実に進めます。

図表7 5つの基本目標・19の施策

- ・本市の魅力をさらに向上させる
- ・近隣市町と連携し、国内外の活力を取り込む

- ・将来的に人口減少に歯止めをかける「積極戦略」
- ・直面する人口減少の課題に対応し、活力を維持するための「調整戦略」

基本目標	成果指標	施策	
地域経済を活性化し、安定した雇用を創生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造品出荷額等の全国シェア、県内シェア</li> <li>・従業者数（製造業）</li> <li>・工場立地件数</li> </ul>	施策①	ものづくり力の強み、起業家支援、産官学等連携を活用した競争力の強化
		施策②	企業立地の促進による雇用の安定
		施策③	職業教育と就業機会の充実
		施策④	地域の特色を活かした農林水産業等の振興
学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京圏・大阪府への転出超過数</li> <li>・総入込客数</li> </ul>	施策⑤	都市イメージの向上
		施策⑥	MICEの推進
		施策⑦	インバウンドを踏まえた観光戦略の展開
		施策⑧	移住・定住支援の充実
		施策⑨	優秀な人材の確保・活用と多様な人々の就労や登用の支援
生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者（65～74歳）の有業率</li> <li>・健康寿命</li> </ul>	施策⑩	社会貢献活動の促進
		施策⑪	高齢者の就業・起業への支援
		施策⑫	健康づくり活動の推進
出産、子育てにやさしい社会を創生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合計特殊出生率</li> <li>・女性（30～39歳）の有業率</li> <li>・「ワーク・ライフ・バランス」の認知度</li> </ul>	施策⑬	ライフステージに応じた切れ目のない支援
		施策⑭	子ども・子育てを見守る地域活動の維持
		施策⑮	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
播磨の中枢都市として魅力ある都市・圏域を創生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに定める連携事業の進捗率</li> <li>・公共交通機関の乗車人員</li> <li>・中心市街地の居住者数</li> </ul>	施策⑯	連携中枢都市圏構想による圏域の活性化
		施策⑰	地域課題克服による日常生活圏の充実
		施策⑱	高次都市機能の集積等による中心市街地活性化の強化・推進
		施策⑲	行政マネジメントの強化

## (2) 取組みの基本方針

本戦略を効率的、効果的に推進するため、以下の5つの基本方針で取組みを進めます。

- ① 市民との協働による戦略推進
- ② 広域、市全体、地域ブロックの視点
- ③ 交流人口を重視した取組み
- ④ 4つの連携（広域連携・産官学等連携・国県との連携・市内連携）による推進
- ⑤ 成果を重視した進捗管理、バージョンアップ

## (3) ひめじ創生戦略 施策・事業一覧（再掲除く173事業 [新規:44 拡充:33]）

基本目標1 地域経済を活性化し、安定した雇用を創生

施策	事業	◎新規:5 ○拡充:10	担当課
①ものづくり力の強み、 起業家支援、産官学等 連携を活用した競争力 の強化  ○拡充：3	○ 海外展開への支援		産業振興課
	○ 新製品・新技術開発への支援		
	○ 産学連携の推進と市内企業の内発的発展の促進		
	新製品等の市場開拓支援		
	国際規格等認証取得支援事業		
	成長分野への参入支援		
	○ 姫路ものづくり支援センターの機能充実と活用促進		
	○ 地域産業資源を活用した事業への支援		農政総務課 水産漁港課 産業振興課
	○ 創業者への支援		産業振興課
	○ 起業家支援資金制度の制度充実と活用促進		
○ 産官学の協働と交流の促進			
②企業立地の促進 による雇用の安定  ◎新規：2 ○拡充：2	◎ 主力製造拠点を誘導する立地戦略の検討・推進		企業立地推進課
	◎ 企業の本社機能の誘致等に向けた取組みの推進		
	○ 企業誘致環境調査に基づく企業立地の促進		
	○ アンケート等による企業立地動向等の調査とそれに対応した企業訪問の強化		
	工場立地促進制度(奨励措置・低利融資)の充実		
	工場用地ライブラリー制度の充実		
	金融機関との連携による企業立地の推進(企業情報の収集等)		
	大規模民有地(遊休地)の活用		
	行政手続のワンストップ化の推進		
	未利用地調査等による工場用地の発掘		
	企業立地促進法に基づく基本計画の推進		
	地区計画制度等による内陸部への工場等の立地誘導		
	企業立地に関する効果的な情報発信		
	③職業教育と就業機会の 充実  ○拡充：2	○ 高校生を対象としたインターンシップの促進	
○ 民間企業と連携した就業教育			
(○) 中小企業人材養成事業			産業振興課 労働政策課
認定農業者の育成・確保			農政総務課
新規就農者の相談・支援			
トライやる・ウィークの実施			学校指導課
兵庫県立ものづくり大学の活用促進			
職業訓練講座の開催			労働政策課
認定職業訓練助成事業			
皮革製品クリエイター育成事業			産業振興課
集落営農の組織化への支援		農政総務課	
④地域の特色を活かした 農林水産業等の振興  ◎新規：3 ○拡充：3	◎ 「豊穡の国・はりま」のブランド推進		地方創生推進室 農政総務課 水産漁港課 産業振興課
	◎ 姫路木綿復活プロジェクトへの支援		農政総務課
	◎ 中央卸売市場の施設整備		中央卸売市場
	○ (公財)姫路・西はりま地場産業センターの事業推進		産業振興課
	○ 地場産業の高付加価値化の推進(皮革等)		
	○ 大学と連携した水産資源の養殖技術研究		水産漁港課
	播磨産の農林水産物の加工品化支援		農政総務課 水産漁港課 産業振興課
	○ 姫路市飲食店認証制度の推進		保健所衛生課



基本目標2 学び、働き、暮らし、交流する新しいひとの流れを創生

施策	事業 ◎新規:15 ○拡充:10	担当課
⑤都市イメージの向上 ◎新規：6 ○拡充：3	◎ 日本遺産(Japan Heritage)の認定申請・活用	地方創生推進室 シティプロモーション推進課 文化財課
	◎ シティプロモーションの推進	シティプロモーション推進課
	◎ スポーツ・コミッションの設置	スポーツ推進室
	◎ 東京オリンピック・パラリンピック開催等に関する取組みの推進	
	◎ (仮称)福泊運動公園の整備推進	公園整備課
	◎ 地域貢献納税感謝状の贈呈	主税課
	(◎) 暮らしやすさのアピール(再掲)	地方創生推進室
	○ 地域夢プラン事業の拡充	企画政策推進室 市民活動推進課
	○ 姫路の歴史文化等に愛着を持つ郷土教育	学校指導課 生涯学習課
	○ ジュニア姫路検定の実施	総合教育センター
	郷土愛を育む読み物資料の作成及び授業研究の実施	人権教育課
	ふるさと納税制度の充実	主税課
	◎ MICEの推進 ◎新規：1	◎ 文化・コンベンション施設の設置・活用 国内外からのコンベンションの誘致
⑦インバウンドを踏まえた 観光戦略の展開 ◎新規：5 ○拡充：2	◎ (仮称)姫路市観光振興計画の策定及び推進	
	◎ 「姫路城プラスワン」作戦の展開	シティプロモーション推進課
	◎ 日本城郭連携PR事業	
	◎ 姫路港大型客船入港推進事業	産業振興課
	◎ 観光に関する人材育成	
	○ 外国人観光客の受入体制の充実	シティプロモーション推進課 観光振興課
	○ 広域観光ルートの検討・活用	
	多様な観光の推進(ナイト観光含む)	観光振興課
	歴史的資源・文化施設等のネットワーク化	
	観光情報の発信	シティプロモーション推進課
⑧移住・定住支援の充実 ◎新規：2	◎ 暮らしやすさのアピール(本掲)	地方創生推進室
	◎ 地域おこし協力隊の活用	
	(◎) 空き家バンク、リノベーションの促進(再掲)	住宅課
⑨優秀な人材の確保・活用 と多様な人々の就労や 登用の支援 ◎新規：1 ○拡充：5	◎ 男女共同参画等を推進する企業への優遇策の検討	契約課 男女共同参画推進課
	○ 阪神地域の大学への姫路市内企業のPR	労働政策課
	○ 合同就職説明会・面接会等の開催支援	
	○ 小中一貫教育の推進	学校指導課
	○ 魅力ある学校図書館づくり	
	○ 大学研究活動等への支援	
	市内4大学の連携促進	企画政策推進室
	駅前サテライト大学の利用促進	
	郷土資料デジタルアーカイブス事業	城内図書館
	女性のチャレンジ支援	男女共同参画推進センター 労働政策課
	わかものジョブセンターの運営	
	ひめじ若者サポートステーションの活動支援	労働政策課
	ジョブトライアル事業(未就職卒卒者等就職支援事業)	
障害者の一般就労への移行促進	障害福祉課	



基本目標3 生涯を通じていきいきと活躍できる社会を創生

施策	事業 ◎新規:4 ○拡充:1	担当課
⑩社会貢献活動の促進 ◎新規:1	◎ 地域の新しい担い手づくりの推進(本掲)	市民活動推進課 生涯現役推進室
	市民活動・ボランティアサポートセンターの充実	市民活動推進課
	研修会、講座の開催	地域包括支援課
	安心して暮らし続けるためのボランティア活動の充実	保健所健康課
	食生活改善ボランティアリーダーの養成	生涯現役推進室
	生涯現役人材バンクの運営	生涯現役推進室
	生涯現役推進専門員制度の推進	生涯学習大学校
	地域活動指導者の養成	スポーツ推進室
	高齢者向け運動指導者養成講習会の開催	生涯現役推進室 労働政策課
⑪高齢者の就業・起業への支援 ◎新規:1	◎ 高齢者のニーズに合う新しい就労の仕組みづくり	生涯現役推進室 労働政策課
	シルバー人材センターへの支援	労働政策課
	雇用アドバイザーの活用(雇用相談・情報提供)	労働政策課
⑫健康づくり活動の推進 ◎新規:2 ○拡充:1	◎ 健康ウォーキングマップ作成事業	スポーツ推進室
	◎ 在宅医療・介護の連携推進	地域包括支援課
	○ 地域包括支援センターの充実	地域包括支援課
	地域スポーツ振興事業の実施	スポーツ推進室
	地域スポーツクラブの活動支援	スポーツ推進室
	ニュースポーツ地域普及事業の実施	生涯現役推進室
	生涯現役体操の普及	生涯現役推進室
	高齢者の自主的な健康づくり活動への支援	地域包括支援課
	介護予防普及啓発事業の実施	保健所健康課
健康増進のための啓発・教育・相談の充実	保健所健康課	

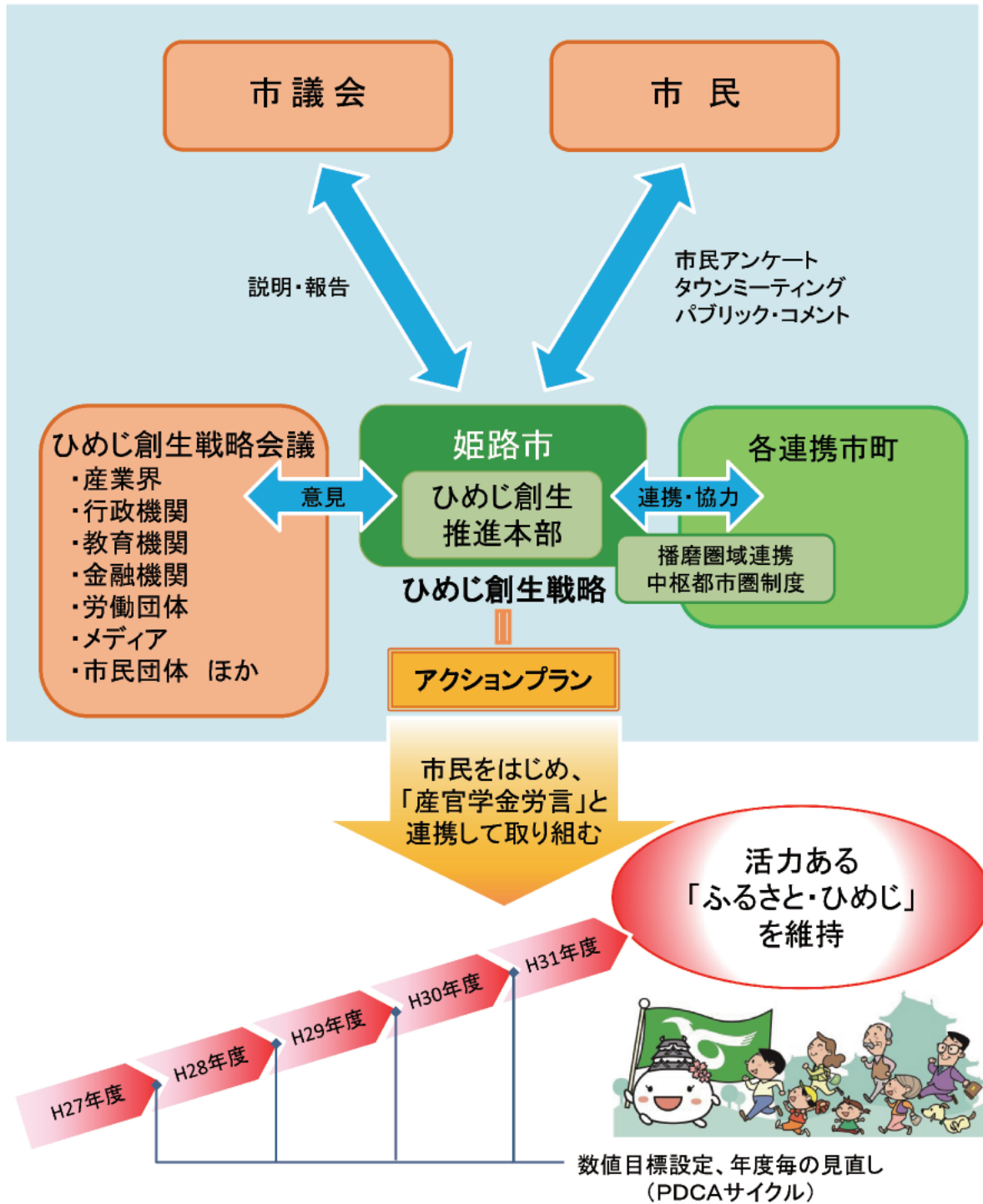
基本目標4 出産、子育てにやさしい社会を創生

施策	事業 ◎新規:3 ○拡充:6	担当課
⑬ライフステージに応じた切れ目のない支援 ◎新規:2 ○拡充:6	◎ 第2子の保育料軽減事業の実施	こども保育課
	◎ 子育て世帯に対する家賃助成	住宅課
	○ 妊娠・出産包括支援の充実	保健所健康課
	○ 放課後児童健全育成事業の充実	こども政策課
	○ 保育士確保対策の推進	こども政策課
	○ 緊急時等における子育て支援の充実	こども支援課
	○ 地域子育て支援拠点事業の充実	総合福祉通園センター こども支援課 こども保育課 星の子ステーション
	○ 児童センターを活用した子育て支援事業の充実	星の子ステーション
	教育・保育の提供体制の計画的な確保	こども政策課 こども保育課 教育委員会総務課 学校施設課
	利用者支援事業の実施	こども支援課 こども保育課 保健所健康課
	市立幼稚園の3歳児保育のモデル実施	教育委員会総務課 学校指導課
	就学前教育と小学校教育の連携推進	こども保育課 学校指導課
	乳幼児等・こども医療費の助成	地域福祉課
⑭子ども・子育てを見守る地域活動の維持	(◎) 地域の新しい担い手づくりの推進(再掲)	市民活動推進課 生涯現役推進室
	コミュニティ活動に対する助成	市民活動推進課
	スクールヘルパー制度の充実	健康教育課
	こども見守り隊事業の推進	危機管理室
⑮仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進 ◎新規:1	◎ 男性の育児参加の促進	男女共同参画推進課
	ワーク・ライフ・バランスに関する講座・講演会の開催	男女共同参画推進センター
	仕事と家庭が両立できる職場環境づくりの促進	男女共同参画推進センター 産業振興課 労働政策課

基本目標5 播磨の中核都市として魅力ある都市・圏域を創生

施策	事業 ◎新規:17 ○拡充:6	担当課
⑯連携中核都市圏構想による圏域の活性化	播磨圏域連携中核都市圏ビジョンの推進	地方創生推進室
⑰地域課題克服による日常生活圏の充実 ◎新規：8 ○拡充：5	◎ 空き家バンク、リノベーションの促進(本掲)	住宅課
	◎ 地区計画制度の活用	都市計画課
	◎ 特別指定区域制度の活用	まちづくり指導課
	◎ 夢前スマートインターチェンジの利活用の促進	北部建設事務所
	◎ 下水汚泥の有効活用	下水道管理センター
	◎ 家島・坊勢島間の離島航路の維持	交通計画室
	◎ 坊勢地区医療施設の再整備	保健福祉政策課
	◎ 坊勢旅客ターミナルの施設整備	家島事務所
	○ 環境意識の啓発事業	環境政策室
	○ 買物支援サービス事業	高齢者支援課
	○ 生活圏を結ぶネットワークの構築	交通計画室
	○ 水道事業経営戦略に基づく施設耐震化等の推進	水道局建設課 水道局浄水課
	○ 消防団活動の活性化の推進	消防局総務課
	地域コミュニティ活動の拠点としての公民館の活用	市民活動推進課 生涯学習課
	地域コミュニティ支援の充実(自治会業務の補助員制度)	市民活動推進課
	地域防災マップづくり	危機管理室
	避難所受け入れ体制の整備	
	ハザードマップ等を活用した災害危険情報の周知	
	地域活動に対する支援	
	製鉄記念広畑病院姫路救命救急センターの運営支援	保健福祉政策課
	後送医療機関におけるベッド及び医療従事者の確保	
	医療系高等教育・研究機関の整備に係る検討	企画政策推進室 保健福祉政策課
	中核的医療機関の統合再編に係る医療機能の検討	保健福祉政策課
	臨床研修医への奨励金貸与	
	総合診療夏季セミナーの開催	
	救急ワークステーション事業	消防・救急課
	JR東姫路駅の活用	用地対策課 街路建設課 鉄道駅周辺整備室
	市内鉄道駅周辺整備の推進	鉄道駅周辺整備室
地方路線バス維持事業	交通計画室	
まち美化運動の推進	美化業務課	
路上喫煙禁止に向けた取り組みの推進		
⑱高次都市機能の集積等による中心市街地活性化の強化・推進 ◎新規：5 ○拡充：1	◎ 特区によるコミュニティサイクルの推進	交通計画室
	◎ 優良建築物等整備事業の推進	都市計画課
	◎ JR姫路駅南側の環境整備	姫路駅周辺整備室
	◎ まちなか遊休不動産等の活用促進	産業振興課
	◎ Wi-Fiサービスの向上	街路建設課
	○ 回遊性を高める大手前通りの再整備	
	イベントゾーンの整備	企画政策推進室 姫路駅周辺整備室
	コアゾーンの整備	姫路駅周辺整備室
	手柄山中央公園の再整備に向けた検討	公園緑地課
	姫路城周辺の公共施設の整備	企画政策推進室 姫路城総合管理室 文化財課
	中心市街地商店街空き店舗対策事業	産業振興課
中心市街地における駐輪対策の推進	建設総務課	
⑲行政マネジメントの強化 ◎新規：4	◎ 姫路市公共施設等総合管理計画の推進	行財政改革推進室
	◎ 業務改革に向けた行政情報分析基盤の構築	情報政策課
	◎ 地方創生に関する市民対話の充実	地方創生推進室
	◎ ひめじ創生チャレンジ事業	

# ひめじ創生戦略推進体制



## ひめじ創生戦略

～ふるさと・ひめじにプラスワン～  
(概要版)

平成28年(2016年)3月

■発行/姫路市 市長公室 地方創生推進室  
〒670-8501 兵庫県姫路市安田四丁目1番地  
TEL(079)221-2832

[http://www.city.himeji.lg.jp/s10/2212381/\\_33984.html](http://www.city.himeji.lg.jp/s10/2212381/_33984.html)